

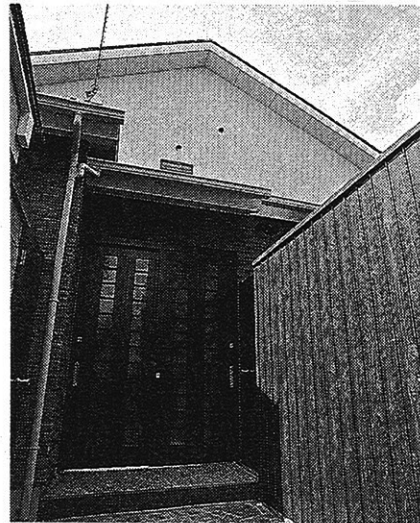
ゼロ・コーポレーション

「うなぎの寝床」リノベ再生 京都の狭小住宅、地場ビルダーが改修

地域性考慮した提案内容に

地域特性を考慮した全面改装モデルで採択された企業もある。京都を地盤に分譲・注文住宅を柱とするゼロ・コーポレーション（京都府京都市）だ。

同社は京都特有の、「うなぎの寝床」と呼ばれる間口が狭く奥行きが長い木造住宅の改修モデル「京都型リノベーションシステム」を提案し、採択された。京都市内は住宅が密接し築年数が古い住宅の場合、「既存不適合で建替えられないケースがあり、全面改修になるケースが多い。リノベーションによって地域再生できるモデルを提案した。実績は増えてきてい



▲京都の狭小地特有の全面リフォームを提案

る」（企画室深田朱美室長）という。リフォームの内容は耐震性の向上や維持管理の容易性を考慮したもの。さらに、住宅密集地を配慮し、防火性能の向上も取り入れる。使用する建材には京都の木材を一部に使用する。また、住宅履歴管理を行い、最大10年の保証を付ける。

同社は分譲住宅を柱とした京都の地場ビルダー。3年前に注文住宅とリフォーム事業を開始している。全面改装リフォームの事例はこれまで約15件の実績がある。同社の前期の総売上高は1億51億6000万円となっている。